

山形・旧大井沢村の女性医師

志田周子の生涯映画に

町民有志が 蘇らせる会 15年の公開目指す

山形県旧大井沢村(現西川町)で生涯を地域医療にささげた医師志田周子(ちかこ、1910〜62年)を映画化したよつと、町民有志らが「志田周子

の生涯を銀幕に蘇(よみがえ)らせる会」(会長・阿部幸一月山朝日観光協会長)を結成した。

このほど同町の交流センターで設立総会が開かれ、医療関係者や志田にゆかりのある住民ら約170人が出席した。脚本を担当する脚本家阿部美佳さん(尾花沢市出身)が記念講演し、「聖人と

して描くのではなく周子の弟の目線から、村のため頑張った姉ちゃんの姿を書きたい」と話した。

蘇らせる会は今後、2014年の撮影開始、15年の公開を目指し、1億円を目標に製作資金を募る募金活動をする。

志田は旧左沢村(現大江町)で生まれ、大井沢村で育った。東京女子医



170人が映画化への決意を新たにした「蘇らせる会」の設立総会

学専門学校(現東京女子医大)に進学して医師となり、大井沢村議や西川に建立されている。町議も務めた。歌人としても活躍し、歌碑が町内に